

# 増穂だより

M A S U O D A Y O R I

中学卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp>

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和5年3月20日

印刷所 株横浜綜合写真

## 自由の相互承認

## — 22期生卒業 —

### 2022年度芝浦工業大学柏中学校卒業式告辞

— 学校長 中根 正義 —

#### 将来の自分を考える

皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

第22期生186名の中学生生活は新型コロナウイルスの感染拡大と時を同じくするものでした。3年前を振り返ると、入学式やその後の各種行事の中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。皆さんの学びを止めるわけにはいかない、と教職員一丸となってオンライン同時配信による授業やホームルームの実施など、試行錯誤を繰り返してきました。

少しでも中学での思い出作りができれば、という学年団の先生方の強い思いもあり、今年度からは感染症対策をしっかりと取りながら各種行事なども順次再開いたしました。京都・奈良方面への宿泊研修旅行や増穂祭、運動会、合唱祭などです。各行事の後には生徒の皆さんから「とても楽しかった」と弾んだ声を聞くことができました。運動会や合唱祭では、保護者の方々がハンカチを握りしめながら、わが子の成長した様子をご覧になっていた姿に、私も胸が熱くなりました。

さて、生徒の皆さんは今後、大学受験なども踏まえながら自らの進路を考えていかなければなりません。自己実現のために、この春休みに改めて夢や目標をしっかりと立ててください。そして、保護者の方々にはお子さまのサポートをお願いしたく存じます。

夢やそれを実現するための目標の大切さをお話するのは、現在、世界や日本で活躍する若者が小中学生だった時代から、自分の思いをしっかりと心に刻み、実現するためにコツコツと努力をしていたからです。そんな二人の野球選手のことをここで紹介しましょう。

まず一人目は、現在、メジャーリーガーとして投打の二刀流で活躍する大谷翔平選手です。大谷選手は高校1年時の作文で「卒業時にドラフト1位で8球団から指名」

と書きました。そのために「コントロールを磨く」「球速160km/hを出す」「人間性を高める」と記しています。大谷少年は人間性を高めるために、毎日掃除をする、勉強をする、礼儀正しい態度で人に接するという具体的な行動をすることを決め、毎日実行することで習慣になるまで繰り返しました。

二人目は、プロ野球・東京ヤクルトスワローズの中心打者として活躍する村上宗隆選手です。村上選手は昨年、王貞治さんが持つ日本人としてのシーズン最多本塁打記録を塗り替えただけでなく、22歳で史上最年少の3冠王に輝きました。彼は小学校の卒業文集で「将来の自分」について、「ぼくの夢は、プロ野球選手になって、お父さんお母さんが試合を見に来てくれた時にホームランを打ってそのホームランボールをお父さんお母さんにあげて、成長した姿を見せることだ。そしてWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）に選ばれて、世界で活躍したい。絶対親孝行してみせる」と書きました。

大谷選手も村上選手も少年時代の夢を実現し、現在開催中のWBCで日本代表チームの中心選手として活躍しています。皆さんも夢や目標を実現するために具体的な行動が習慣になるまで繰り返してください。また、心を磨くためにきちんとあいさつすることや、ボランティア活動などにも取り組んでみてください。二人の選手のように、結果が出る人は人知れずやっていることです。

社会は今、ICT技術の進歩で加速度的に発展する時代を迎えました。つまり、可能性が大きく広がる時代を迎え、若い世代が活躍する舞台が広がっています。

本校の建学の精神は「創造性の開発と個性の発揮」です。未来を見据え、私たち教職員は一丸となって皆さんをサポートしていきたいと考えています。

結びに卒業生の皆さんのますますの活躍とご臨席の皆様のご健勝を祈念し、告辞といたします。

## 目次

学校長告辞 / 式次第	1 P
表彰 / 校歌	2 P

一、開式の辞	一、卒業生代表の言葉	一、在校生代表の言葉	一、学校法人代表式辞	一、校長告辞	一、賞状賞品授与	一、卒業証書授与	一、開式の辞
--------	------------	------------	------------	--------	----------	----------	--------



## 創立者有元史郎記念賞・優等賞

D組

この度は、このような素晴らしい賞をいただけるとは思ってもいなかったので、とても有り難く感じています。コロナ禍で前例のない学校生活の始まりでしたが、“制限のある中で最大限できることをしよう”と前向きに考えられたのは、側で見守ってくれた先生方や友人のおかげです。日常生活の有り難みを痛感する中で、できることを考えチャレンジする機会をくれた事に感謝しています。私はこの3年間、“雨垂れ石を穿つ”を座右の銘に、日々の努力を大切に過ごしてきました。今回の受賞は、目標に向かって共に切磋琢磨し、刺激し合える仲間と積み重ねた時間があったからだと思います。高校生活も感謝を忘れずに、この賞に相応しい活躍ができるように努力していきたいと思えます。

## 千葉県私立中学高等学校協会賞・優等賞

D組

率直にいうと、この3年間は進路や人間関係、学業など、色々なことで悩み通してました。

それを悩みで終わらせず自分の力に変えることができたのは、芝柏という、沢山の温かい人達に囲まれた環境で中学校生活を送ることができたからだと思っています。

私の友達達は皆、たとえ意見が対立してもしっかりと話を聞いてくれましたし、課題を解決しなければならないときには家族や先生方の助言が支えになりました。

未熟だった私を大きく成長させてくれた周囲の人たちへの感謝を忘れず、高校生活やその先も、弛まず、怠らず、充実した日々を過ごしていきたいです。

3年間ありがとうございました。

芝浦工業大学柏中学校高等学校校歌  
毎日が喜び

小椋 佳  
川辺 真  
作曲 詞  
編曲

一、 緑と実り 自然の恵み

抱かれて建つ 白い学び舎

出逢う友は皆 輝く太陽のかなた

無限の宇宙へ 挑む翼を磨く

伝統を築くものたち

新しい道を 拓くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

二、 伸びやかな風 行く大津川

深い想いの 城址公園

集う友は皆 あふれる友情をかかえ

それぞれの夢に 熱い誓いを結ぶ

責任を果たすものたち

自由な心を抱くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

柏の青春 毎日が生きる喜び